

エンディングノートとは



人は誰もが健康長寿(介護を受けずに自立して日常生活が出来る生存期間のこと)を願い、年を重ねるにつれて健康に留意し、塩分やカロリー制限を主とする食事療法や適切な運動を実施している方は多い。しかし、意識が全く無いままで長期間寝たきりとなる人や認知症で介護を必要とする人は少なくない。私は介護や医療現場で人生の様々な終末期を見てきたが、意識が全く無く、家族に見舞いにすら来てもらえず、長期間にわたり食事介助を受ける中で死に至る人は、このような最期の迎え方を望んでいないと思っている。一方で、患者自身の気持ちを理解する心の余裕が無く、どういう病状であれ、とにかく生きて欲しいと思う家族がいることも承知している。医療従事者でなければ、このような実情を深く理解し、日常から備えることは困難である。

人生の終末期に迎える死に備えて、自身の希望を書き留めておくエンディングノートを自治体やNPOなどが無料配布しているところもある。その目的は、存命中や死後の家族の負担を減らすことであり、その内容として自身が死亡した時に財産の相続や処分方法、さらには、存命中に判断力や意思疎通能力を完全に喪失した状態における介護のあり方あるいは、意識喪失する可能性が極めて高い病態において、延命治療を望むか望まないか、特に人工呼吸器による呼吸管理、高カロリー輸液や胃瘻などの栄養管理措置などを希望するかについて意思表示することができる。今後、国として、このような極めて重要な課題について、十分な論議が必要であると考えている。皆さんはどう思われますか。



～ 今月のおすすめ本 ～



**多縁社会**  
篠原聡子ほか  
多世代同居や2.5世帯という家族での暮らし方、シェアハウスのように他者と共に住む暮らし方、家をギャラリーや水族館として開放する暮らし方、土地をシェアする商店街など、さまざまな「縁」の「カタチ」を事例とともに紹介します。これからの生き方、暮らし方のヒントが満載。(東)



**これだけは知っておきたい働き方の教科書**  
安藤至大  
自分や家族の働き方に不安や不満を持つ人へ、働き方のルールを知り、考える機会にしてみませんか。長時間労働、非正規雇用、ブラック企業など、具体的な事例に沿って分かりやすく解説してあります。少子高齢化が進み、人口が減少し、労働力が減少していく中で、どのように備えれば良いかを考えさせられます。(西)

▶詳しくは、東図書館(☎62・0190) 西図書館(☎75・5406)へ。

広げよう 人権の輪

一人で悩まないで…相談してください

今年5月、長崎市の公園で女性の遺体が発見され、殺人容疑で内縁の夫が逮捕されました。まだ判決は出ていませんが、警察は目撃証言などから、DV(ドメスティック・バイオレンス)の末の殺人として内縁の夫を追及しています。女性は、このDV被害をどこにも相談しておらず、長期間にわたる日常的な暴力により、正常な判断力を奪われていたのではないかと見られています。もし、彼女が誰かに、どこかに救いを求めていたら、こんな悲しい結末にはならなかったのではないかと思います。

DVは、配偶者や内縁関係、恋人など親密な関係にあって、過去に同様の関係にあった者からの暴力で、家庭内で行われることが多いため潜在化しやすく、しかも加害者に罪の意識が薄いという傾向にあり、周囲も気付かないうちに暴力が次第にエスカレートし被害が深刻化しやすくなります。

昨年度、警察におけるDVの認知件数(\*)は全国で59,072件と過去最多となっています。そのうち刑法などの適用による検挙件数は6,875件。中には殺人におよぶものも相当数あります。DVは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。20数年にわたりDV被害者支援に関わってきたあるNPO法人の理事は「DVに対する

認識が進み、相談件数は増えているものどどこにも相談できずにいる被害者もいまだに多く、相談者は被害者のほんの一握りにすぎない」と話しています。昨年度の内閣府の調査によると、成人女性の4人に1人がDVによる被害を経験しており、そのうち5人に1人は、命の危険を感じたことがあると回答しています。また、平成23年に18歳以上の男女を対象に行った本市のアンケート調査でも女性の4人に1人がDVを受けていることが分かっています。

身近で起こっていても表面化しにくいDVですが、家族、友人あるいは近所の人たちが「おかしい」と気付いたら、専門機関への相談を勧めるなど被害者に対し何らかの働きかけをしていくことが重要ではないでしょうか。

DVは、とても被害者一人の力で解決できるものではありません。被害者本人も一人で悩まないで、周囲の人たち、自治体の窓口や警察などに相談してください。

《人権啓発推進室》

- 【DV相談窓口】**  
 ◆市役所人権啓発推進室(☎ 66・1022)  
 ◆京都府北部家庭支援センター(☎ 0773・22・9911)  
 ◆舞鶴警察署(☎ 75・0110)

\*認知件数とは、配偶者等からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者の相談等を受理した件数です。



本番さながらの選挙を体験 青葉中で模擬選挙

10/6

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、市選挙管理委員会と市教育委員会が10月6日、青葉中学校で模擬選挙を行いました。同校3年生182人を対象に、実際に使用する投票箱や投票用紙などを使って実施。生徒たちは、昨年の衆議院選挙と同じ年齢別の投票割合により、20～82歳に振り分けられ、その年代の立場になって候補者の演説を聞いた後、投票を行いました。

投票後、生徒たちは投票結果から20歳代の投票率の低さや未来を担う若者の政治参加の意義を考えました。また、「若い世代の思いを政治に反映させるためにも、18歳になれば必ず投票したい」と意見が出ました。



左：投票する生徒 右上：候補による演説 右下：選挙管理委員会による開票

危険業務従事者叙勲、全国大会等出場者を紹介

- ☆瑞宝双光章**  
 安積哲範(余部上) 防衛功労(元1等海尉)  
 北方弘文(大内野町) 海上保安功労(元海上保安官)  
 鈴木雄二(森) 防衛功労(元3等海尉)
- ☆瑞宝単光章**  
 池田義二(白浜台) 防衛功労(元准海尉)  
 大槻定吉(東神崎) 海上保安功労(元海上保安官)  
 木村茂(白浜台) 防衛功労(元准海尉)  
 品川次男(常) 防衛功労(元3等海尉)  
 永井洸(引上) 警察功労(元京都府警部補)  
 松村美治(福来) 防衛功労(元3等海尉)  
 宮崎昇(余部上) 防衛功労(元3等海尉)  
 山口孝夫(愛宕上町) 防衛功労(元3等海尉)  
 山下長司(野原) 消防功労(元舞鶴市消防司令長)  
 (以上敬称略)
- ☆全国大会出場**  
**☆JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアソフトテニス選手権大会** (9月19日、20日、広島県)  
 市川満理華(明倫小6年)、柴田七海(福井小6年)
- ☆全日本ハイシニアソフトボール大会** (10月23日、群馬県)  
 生田勝美(竹屋町)、井澤明生(公文名)、岩崎孝志(高野台)、植田和男(公文名)、大下彰(余部下)、柴田政善(寺内)、島田功(京月東町)、志馬義高(愛宕浜町)、中村稔(天台)、野瀬郁生(余部上)、藤本進(七日市)、藤山豊(喜多)、村上久義(伊佐津)、山口次男(森本町)
- ☆レディースカップ全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会** (11月19日、21日、岩手県)  
 井崎茅夏(海洋高2年、城北中出身)、堺谷悠依奈(加悦谷高3年、白糸中出身) (以上敬称略)
- ☆日本スポーツマスターズ2015 空手道競技** (9月19日、21日、石川県)  
 内田慎郎(鏡谷)
- ☆IUTアジアシニアアジアカップ** (9月20日、新潟県)  
 山下陽裕(立教大4年、白糸中出身)
- ☆JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアバドミントン選手権大会** (9月20日、埼玉県)  
 小谷翼、増田智(以上西舞鶴高2年)
- ☆日本トライアスロン選手権** (10月11日、東京都)  
 山下陽裕(立教大4年、白糸中出身)
- ☆全国高等学校プログラミングコンテスト** (10月11日、12日、長野県)  
 辻優希、治居直哉、藤村匡弘(以上舞鶴高専5年)



糸井 結菜ちゃん(1歳1か月)

我が家のタカラモリ

マリナー・オブ・ザ・シーズ 見に行ったよ！



加藤 希空くん(1歳)

掲載する3歳までの子どもの写真を募集中。11月10日(火)までに持参か郵送で。  
**【応募に必要なもの】**  
 ◆応募者の住所 ◆応募者の氏名 ◆電話番号  
 ◆お子さんの氏名とフリガナ ◆お子さんの性別  
 ◆お子さんの写真(近照がベスト) ◆お子さんの生年月日  
 ◆一言コメント(様式は自由)  
 ▶詳しくは、広報広聴課(☎66・1041)へ。